

群馬県の将来推計人口について

1 内容

2018年（平成30年）から2028年までの
今後10年間の群馬県の将来人口を推計しました。

（各10月1日時点）

●年齢3区分別人口の推移

上段：人口、下段：構成比、（ ）増減比

区 分	2018年 (平成30年)	2028年	増減
年少人口 (0～14歳)	236,733 人 12.1 %	192,261 人 10.6 %	-44,472 人 (-18.8 %)
生産年齢人口 (15～64歳)	1,138,512 人 58.4 %	1,037,148 人 56.9 %	-101,364 人 (-8.9 %)
老年人口 (65歳以上)	574,511 人 29.5 %	592,256 人 32.5 %	17,745 人 (3.1 %)
計	1,949,756 人 100.0 %	1,821,665 人 100.0 %	-128,091 人 (-6.6 %)
<参考> 後期老年人口 (75歳以上)	286,092 人 14.7 %	366,064 人 20.1 %	79,972 人 (28.0 %)

(注)

端数処理をしているため、合計が一致しない場合があります。

2 推計の特徴

将来人口推計については、国立社会保障・人口問題研究所により都道府県別に行なわれており、平成30年3月に平成27年国勢調査結果を踏まえた推計結果が同所ホームページで公表されていますが、それは5年ごと5歳階級別のものです。

今回の県の推計は、1年ごと各歳別のものであり、例えばその年の10月1日時点で18歳の人数が把握できるようになっています。

※報告書、結果表（エクセルファイル）は、次の群馬県統計情報提供システムのホームページに掲載しています。 (<https://toukei.pref.gunma.jp/ssj/index.html>)